

みんなの町議会



ドローンで
地域活性化

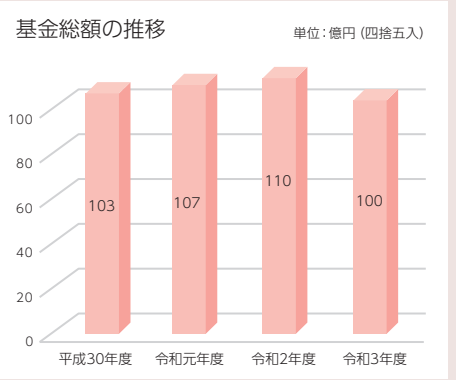
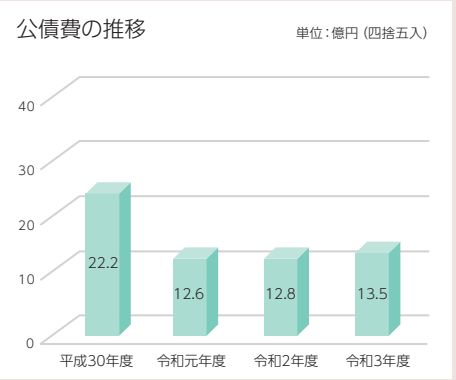
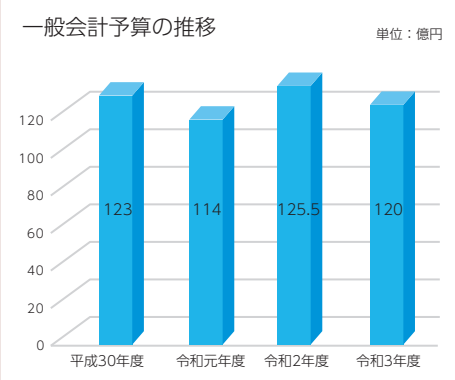
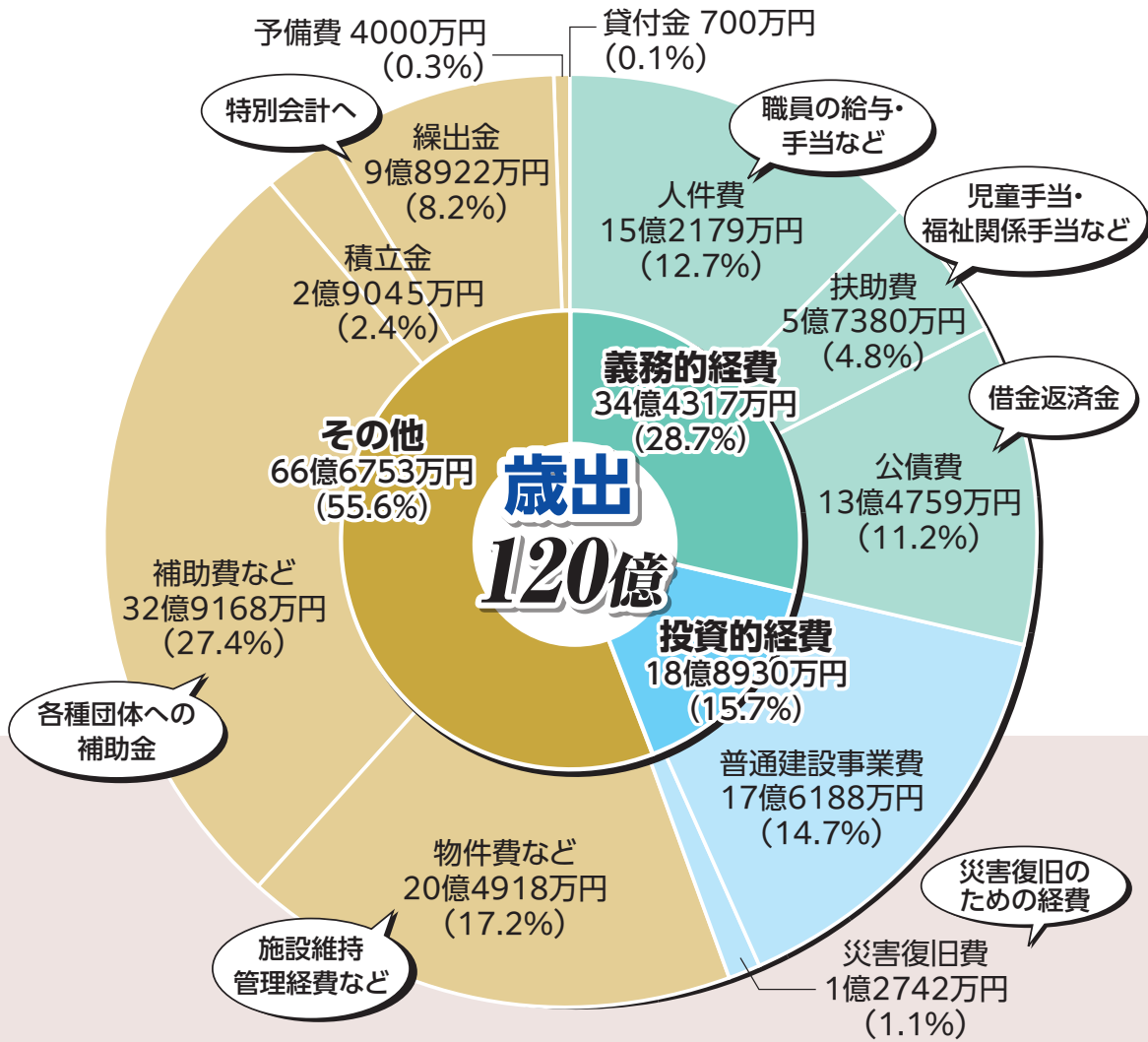
新年度予算 186億の使い道	2
町政を質す 一般質問	12
どうなる水道広域連携(常任委員会報告) ...	22
ありゃどうなったん(クラフトビール)	24
とよまつプレーパーク完成	26

後最大規模

120億円 病院事業会計27億円

3月定例会

3月定例会は、3月5日に開会し3月19日に閉会しました。町の施政方針と教育行政方針が示され、上程された令和3年度当初予算など100議案を慎重審議し、いずれも原案通り可決しました。一般質問では8人の議員が町政の課題などについて、質しました。



令和3年度 予算

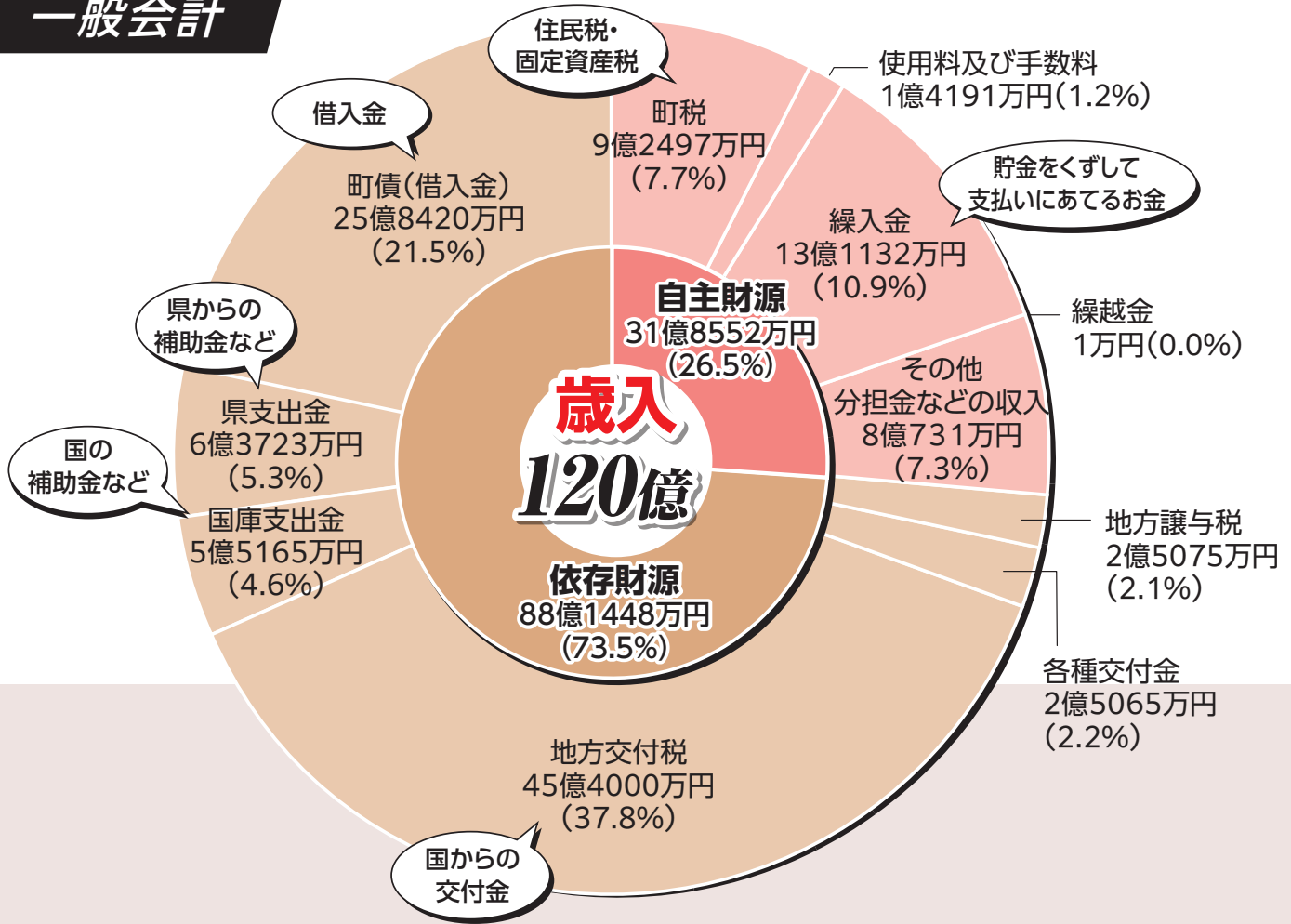
全会計 **186億5695万円**

前年対比 **8.0%増**

合併

一般会計

一般会計



〔義務的経費〕 一般に人件費・扶助費・公債費の合計
〔投資的経費〕 道路・学校・公営住宅などの整備に要する経費
〔自主財源〕 町が自主的に収入できる財源
〔依存財源〕 国や県から交付されるお金

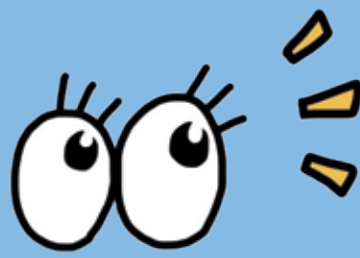
令和3年度予算会計別総括表

単位：万円(四捨五入)

会計名	R3年度	前年度比較
	当初予算額	増減額(増減率)
一般会計	120億	△5億5000(△4.4)
特別会計		
国民健康保険	11億130	7690(7.5)
後期高齢者医療介護保険	3億7200	△710(△1.9)
簡易水道事業	18億4145	2545(1.4)
飲料水供給施設事業	3億2440	7440(29.8)
農業集落排水事業	4000	200(5.3)
分収育林事業	2億4300	△4020(△14.2)
総合開発事業	370	360(3600)
計	170	△10(△5.6)
病院事業会計	39億2755	1億3495(3.6)
合計	27億2940	17億9742(192.9)
合計	186億5695	13億8237(8.0)

注目事業

更なる挑戦



未来創造課創設 (デジタル推進室新設)



岡崎課長とスタッフ

DX推進のため 地域おこし企業人派遣費用

608万円

シニアカー・サポカー 購入助成



高齢者の交通安全対策を図るため
65歳以上の方を対象

397万円

医療機器購入



全身用X線CT診断装置
写真提供 GEヘルスケアジャパン

耐用年限が来た機器の更新

3972万円

奨学金返済支援



町が奨学金返済を支援する制度を新設

75万円 (15万円×5人)

令和3年度 安心 幸せ

新型コロナワクチン接種



接種費用2回分
3173万円

こばたけ保育所改修整備



用地取得・基本設計費など
4100万円

庁舎・病院建設



病院建設 23億4292万円
庁舎移転(繰越事業含む) 11億2195万円

有害鳥獣対策



シカ対策拡充など
3935万円

町長施政方針



神石高原町長
入江 嘉 則

安心して幸せに 暮らせるまちづくり

- 協働のまちづくり
- 新技術の活用 (DX※：デジタルトランスフォーメーション)

最重要施策

持続可能な農林商工業の振興

- ・ 農業再生のための協議会を設置
- ・ 農地の継承、経営者の確保育成

森林環境譲与税の利用

- ・ 森林の整備、雇用の確保創出
- ・ 女性が活躍できる環境づくり
- ・ 指導者の女性割合を30%へ
- ・ 特定事業組合の検討

特色ある教育と文化の振興

- ・ 本物を体感する教育
- ・ 短期留学・体験活動を拡大
- ・ 文化人の活用
- ・ 芸術文化に造詣の深い人に学ぶ

独自の奨学金制度の創設

- ・ 奨学金返済支援制度の創設

未病への取組

デジタル化で健康寿命を延ばす

協働のまちづくりと新技術(DX)の活用が施政方針の2本柱とし課題克服に向け安心して幸せに暮らせるまちづくりに更なる挑戦

教育行政方針

《社会教育の充実》

生涯学習社会教育の振興

- ・ 協働支援センターと連携
- ・ 教養のまちづくりを推進
- ・ 人権教育の推進

芸術・文化の振興

- ・ 古文書を閲覧できる環境
- ・ 教養を高める施設の管理運営
- ・ 町内の文化財の発信
- ・ 質の高い芸術体験の提供

生涯スポーツの推進

- ・ トップアスリートに学ぶ事業
- ・ 出前教室と連携して推進・普及に努める
- ・ 体育協会への支援

《学校教育の充実》

確かな学力の向上

- ・ ICTを活用した学習活動の充実
- ・ 複式学級の導入

豊かな心や健やかな体を
育成する教育の推進

- ・ 道徳・福祉・人権教育の充実
- ・ スクールカウンセラー教育相談
- ・ 安全で安心な給食の提供

信頼される学校づくり

- ・ 情報発信で開かれた学校
- ・ コミュニティ・スクールの導入

教育環境の整備

- ・ 言語能力・問題発見・解決能力を養い、情報活用能力を高める

連携型中高一貫教育

教科指導や教科外連携の連携



神石高原町教育長
馬屋原 健 治

※DX＝デジタル技術の浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させるという概念。

令和3年度 予算審議

予算をチエツク

一般会計質疑

総務課

財政の今後

木野山議員 財政の今後の推計と計画は。

総務課長 予算規模は令和6年で100億円程度となる。それ以降は90億円程度に減少する。各種事業の見直しを行いながら、経費の抑制と効果的な事業執行が必要だ。安定した有利な財源の確保に努めたい。

ふれあいタクシー

藤田議員 ふれあいタクシー事業で一回の平均運行経費と利用者負担の割合は。

総務課長 約3300円で、約28%である。

サポカー購入助成

寄定議員 サポカー購入助成は、高齢者の交通事故防止のために、後付けの装置が有効と考える。補助申請の方法は。

総務課長 自動ブレーキや踏み間違い・急発進抑制装置の付いた新車・中古車の購入が対象。後付けの装置も対象にし、国の補助額の2分の1を助成。申請は町内自動車販売店で。

政策企画課

奨学金返済支援制度

柏床議員 町独自の奨学金返済支援制度の具体は。

町長 返済者が本町へ定住した場合、定住した期間に返済した額の3分の2相当額（年間15万円限度）を支援する。事

業期間は、令和3年度～令和6年度まで。申請した年度から最大5年間の支援。

政策企画課長 実際に住んでいることも確認する。

寄定議員 町の奨学金返済支援事業と、広島県の奨学金返還支援制度と併用は可能か。県の制度を町内事業所に周知すべきでは。

政策企画課長 広島県の制度と併用は可能である。広島県の制度を商工会を通し町内事業所に周知し、定住促進につなげたい。

プレミアム商品券

横山議員 プレミアム商品券の予算計上がされていないがなぜか。

政策企画課長 新型コロナの影響による町内の経済状況をしっかりと把握した上で今後、検討をする。

藤田議員 商工振興助成事業（地域通貨）は昨年好評であったと思うが、今年廃止した理由は。

政策企画課長 廃止するということではない。コロナの状況、経済状況を見ながら適切に対応していきたい。

人材育成支援事業

横山議員 人材育成支援事業の内容は。

政策企画課長 女性が活躍できる社会の推進も含めて研修会への参加、著名な講師の派遣などを予定し、商工会と協議中である。



商工会女性部の活動

特定事業組合[※]運営の経費

林議員 国からの補助は何年間か。

政策企画課長 何年という風に決まっていない。国の支援がなくなることも想定をしながら、運営を考える。

林議員 週末だけの非正規雇用は可能か。

政策企画課長 無期雇用が原則なので、パートなどは、今の段階では想定をしない。

小川善久議員 財産的基礎要件のうち2000万円の基準資産が必要では。

政策企画課長 広島県知事の判断で必要ないとされている。

ドローン活用による地産地防推進事業

小川善久議員 業務委託料

1800万円の内訳は。

政策企画課長 担い手の育成事業費・教育費・借上げ費・事業計画・申請書作成費を計上している。

久保田議員 ドローン実証実験実用化の時期と内容は。

政策企画課長 昨年豪雨の際ドローンによる情報収集を実用化している。農業分野など他の活用も実験を重ねている。

チャレンジ基金運営

久保田議員 事務所運営費800万円計上しているが寄付金で賄うよう努力すべきだ。

政策企画課長 一般寄付や企業版ふるさと納税などを活用して賄うよう努力する。

木野山議員 コロナ禍における今年度の取り組みは。

政策企画課長 企業誘致とデジタル化専門のアドバイザー2名を招致し、より一層の成果を目指す。

保健福祉課

病院事業会計

久保田議員 ふるさと枠医師の配置はいつごろか。



スコラ高原で行われたドローンの実証実験

保健福祉課長 令和3年度町立病院に、ふるさと枠の配置はないが自治医大出身の2名の医師が、県外から派遣される。

子育て応援課

寄定議員 入学お祝い金は入学前に支給できないか。

子育て応援課長 入学支度金ではないので入学後に支給する。

町長 入学前に支給できるかを検討する。

産業課

農業振興

小川清治議員 赤と黒のプロジェクトの、予算計上は。



野菜・加工品などが並ぶ油木百彩館の店内

産業課長 新規研修生の募集を行っていないが今後検討したい。

藤田議員 道の駅産直市場の、冬場の野菜不足対策は。

産業課長 出荷者協議会とも充分協議しながら提案があれば、検討していく。

横山議員 油木百彩館の業績向上の施策は。

産業課長 加工品を増やす取り組みや油木高校との連携、イベントの開

催や生産者との出荷協力などで活性化に努める。

藤田議員 トマトガーデンの近くヘイトイレ設置が出来ないか。

産業課長 合併浄化槽を設置すれば多額の経費が掛かる。もう少し検討の余地がある。

まちづくり推進課

協働支援センター



本町のふるさと納税サイト

寄附議員

ふるさと納

ふるさと納税

まちづくり推進課長
自助・共助・公助の活動の中で、具体的な施策があれば必要な財源を検討する。

木野山議員 協働支援センターの将来展望は。

まちづくり推進課長

ふるさと応援寄付金奨励経費はサイト利用料が経費の多くを占めており、サイト利用料は寄付額の5%で、事務経費が必要である。7%は適正だと思ふ。

税の手数料経費7%は適正か。



ふるさとチョイス

教育課

ALIT活動事業

木野山議員 ALITの導入により、小・中学生の英語力はどの程度向上したのか。

教育課長

ネイティブな発音を聴くことで、リスニングの力が付き発音も良くなった。低学年も英語に、より一層興味を持ち、中学校では英検や標準学力調査の結果も上がっている。

中学校海外交流支援

寄附議員

中学校海外交流支援事業の対象生徒は4名限定であるが、参加生徒の活動体験を、参加しなかった生徒たちのために活用すべきでは。

教育課長

海外交流参

加生徒が体験や学んだことは、写真や資料を用意し、パワーポイントを使って文化祭や全校集会などで報告。また、海外の提携学校間とのテレビ会議で、現地に行った生徒が積極的に交流することにより、多くの生徒が自然体で交流することができている。

横山議員

小・中学校生海外体験事業の内容は。

教育課長

海外留学体験ができる環境を充実させるための計画。補助額は、費用の半額で上限20万円。対象者は、町内に住所を有する小中高の生徒と町外住所の油木高校生。

小川清治議員

海外体験交流事業は今年度本当に出来るのか。

教育課長

町長の政策で予算化したので実行する。

建設課

町道
油木豊松線

藤田議員 町道油木豊松線は国費対応出来ないか。

建設課長

近年、防災対策にシフトされていて道路改良には国費が付かない傾向があるが、事業費も高額になるので今後県へ要望していきたい。

※特定事業組合

事業所の人手不足を解消するため、正規雇用の職員を派遣する組合



整備予定の町道油木豊松線

令和3年度 一般会計予算

賛成多数で可決

討論

反対 1人 反対討論

林 憲志議員

従前より反対の継続事業が提案されている事や、質疑・答弁結果を熟慮し、以下の理由で反対する。

- 1 新庁舎建設は、有史以来地震被害の少ない本町に、耐震強度不足が根拠の建て替えであり、疑問があること。
- 2 森林環境譲与税の用途が大型林業機械の施業を前提としており、機械・人件費へ充当が増し、森林所有者への還元が少なく、地域の振興や里山保全に成らない恐れがあること。
- 3 動物愛護事業は、犬舎内の飼養現況の確認が不十分であること。
- 4 かねてから課題の、有害鳥獣肉を活用した事業予算が計上されていないこと。
- 5 ふれあいタクシー事業は、福祉視点で料金の引き下げを行うべきであること。
- 6 協働のまちづくり事業は、全国的にみても「協働疲れ・失敗」が起きていること。

賛成 8人 賛成討論

横山 素子議員

高齢化が進む本町で新技術を取り入れ、持続可能な未来に向け、自治体運営を健全に行う事を前提とした予算提案となっている。

- 新型コロナウイルス感染症対策やワクチン接種対策、奨学金返済支援制度の創設、サポカー購入補助、DXを活用したソフト事業の展開など、町の未来を創造し、安心して暮らせるまちづくりの予算となっている。
- よって、令和3年度一般会計予算案に賛成する。
- 予算審議での議員からの指摘・提案などを十分に検討の上、対応されたい。
- 1 こばたけ保育所の用地選定・買収については精査し執行されたい。
 - 2 DXの推進については、住民に十分理解出来るよう取り組むこと。
 - 3 協働のまちづくりは、町内統一の見解を示し、行政と住民による取り組みを進化させること。
 - 4 教育行政においては、すべての子どもたちが、夢や目標をしっかりと持てるよう特色ある教育の充実に取り組むこと。

令和3年度当初予算 議員賛否表(賛否の分かれた議案のみ)

○=賛成 ×=反対

議案名	寄定 秀幸	藤田 晃己	木野山 孝志	小川 清治	久保田 龍泉	横山 素子	林 憲志	小川 善久	柏床 由夫	橋本 輝久
神石高原町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	×	○	○	—

議長は採決に加わらない

3月補正予算 全会一致で可決!

一般会計補正総額 ▲4億2285万円
 一般会計補正後予算現計 148億3376万円 (四捨五入)

主な補正事業

かがやきネット管理運営基金造成 1億円
 町立病院医療機器更新基金造成 4000万円
基金の耐用年数が短く地方債で対応できず基金造成した

チャレンジファンド運営事業 310万円
運営費補助
 トマト団地アクセス道(日の郷線)改良 2621万円

新型コロナ対策予算

キャッシュレス決済PayPayによる町内消費喚起支援事業 4000万円
 庁舎・公共施設に非接触型自動検温器設置 436万円

新型コロナワクチン接種体制確保事業(接種券作成委託料) 154万円 (繰り越し)
 道の駅デリバリー支援 207万円
冷凍冷蔵庫購入・デリバリー支援
 広島県頑張る飲食店支援事業(県・町連携事業) 570万円



さんわ182道の駅 デリバリーセット

林議員 ペイペイへのチャージが、隣のコンビニに行かなくてはいけない。地元で出来ないか。

キャッシュレス決済ペイペイ

林議員 「詰合せ商品」お試しセットはリピーターが見込めるか。

産業課長 春に直接182道の駅の方でも取り組み、多くご購入を頂いたがリピーターなどの把握は出来ていない。4月以降の取り組み策を現在考えている。

道の駅デリバリー支援

久保田議員 ふるさと納税でチャレンジ基金事務局の経費は賄えたか。

政策企画課長 寄付はふるさと納税の440万円と財団が直接受けた300万円があり、仮決算上は賄えると思ってる。

チャレンジ基金の運営経費は

補正予算質疑

一般質問

一般質問は定例会において、議員が町の施策・方針などについて説明を求めたり、提案したりすることをいいます。

議員は質問原稿を作成し事前通告を行い、1人につき質問・答弁合わせ60分以内の持ち時間で、一問一答方式で質疑を行います。

3月定例会では8人の議員が2日間に渡り一般質問を行いました。質問と答弁を要約した内容は13ページから20ページに掲載しています。

【17ページ】 林 憲 志

- ・仙養ヶ原の振興策は
- ・スコラ犬舎の放流水は
- ・クマタカの保護を

【18ページ】 横 山 素 子

- ・DXの推進で何がかわるのか
- ・庁舎の跡地利用は

【19ページ】 久保田 龍 泉

- ・ワクチン接種の優先順位は
- ・持続可能な農林・商工業振興について

【20ページ】 小 川 清 治

- ・平成30年7月豪雨災害の復旧は
- ・2期目のスローガンは
- ・高齢化社会への取り組みは
- ・新エネルギービジョンへの取り組みは

【13ページ】 木野山 孝 志

- ・協働のまちづくりを進化させるとは
- ・DXの推進は
- ・農業振興協議会の設置は

【14ページ】 寄 定 秀 幸

- ・新しい生活様式で攻めの取り組みは
- ・未病への取り組みは
- ・防災・減災国土強靱化は

【15ページ】 柏 床 由 夫

- ・広島県水道広域連携の方針は
- ・奨学金返済支援制度は
- ・機構改革について
- ・農業振興について

【16ページ】 小 川 善 久

- ・4億円の寄付者の思いは
- ・未来創造課へ機構改革は

町政を質す

問 協働のまちづくりを 進化させるとは



木野山孝志 議員



町長

答 次の社会に引き渡す仕組みを作る

問 新技術の活用におけるDX推進の内容とその計画は。

DXの推進は

答 町長 人口減少や高齢化、歳入の減少により今までは違う自治体スタイルを作らざるを得ない。行政が担った仕事を解体し、次の社会に引き渡す仕組み作り、多くの課題を「協働」という考え方で克服したい。

問 我が町の将来を見据え、協働のまちづくりをより進化させる意義は。

問

国が新しく事業化した、特定事業組合制

答 町長 デジタル技術を活用した遠隔医療や自動運転などの実現により、労働力不足の解消など中山間地域の課題が克服される。また、ドローンの実証実験などの環境作りや法整備、民間企業と連携する取り組みを一層進めたい。

農業振興協議会の設置

問

持続可能な農業振興のために設置される協議会への具体的構想は。

答

町長 農業委員会など農業の関係団体と事前に協議し、新しく協議会を組織化したい。農地の維持管理、農業公社や関係組織、生業としての農業の在り方、基盤整備を含めた土地利用など課題をしっかりと議論して頂く。

問

協働のまちづくりは、どうしてもやり遂げられず少しずつ町民の同意

答 町長 本町では、長期総合計画の中で、観光振興の将来目標を掲げてはいるが、基本方針を定めた観光振興に特化した個別計画がない。観光は地域経済活性化の推進力であり地方創生に関わる重要なテーマである。具体的取り組みは計画策定の中で検討する。

問

新しく策定する観光振興計画の目的と取り組みは。

答

町長 多くの企業が一緒にあって設立することにより人材を共有し、通年雇用で職が安定するため就職しやすいなど利点が考えられる。本町のような、過疎化が急速に進む地域ではこの制度を利用し活用することは大いに意義がある。

問

をしながら取り組んで欲しい。新年度、多くの事業に取り組まれるが、最終的には、総合的な連携で町民全体がこの町をどうするか考えていく。まさに「一人の百歩より百人の一步」を思い返して頂き、町政を進めて頂きたい。

答 町長 「二人の百歩」も大事なので、両方努めてまいりたい。



山の日のイベントで行われた森林セラピー

問 新しい生活様式での攻めの取組は



町長

答 定住・企業誘致をデジタル化で推進



寄定 秀幸 議員

問 DX推進・未来創造課設置は。

答 コロナ後を見据えた、新しい生活様式での攻めの取組みが重要である。
問 町長 新しい生活様式では、過度な「密閉」「密集」と「密接」をなくすことを求められている。
 ティアガルテンでワークショップが行えるように整備したWi-Fi(ワイファイ)設備やスコラでのドローンの実証実験など、デジタル化を積極的に取組み、定住対策や企業誘致に活かしたい。

答 町長 未病とは、健康から病気に向かっている状態をいう。病気を

問 未病の具体策は。

未病への取り組み

答 町長 本町の最上位条例「人と自然が輝くまちづくり条例」の実現のため、住民と協働支援センターとの適切な役割分担により町づくりを推進したい。

問 協働のまちづくりへの将来展望は。

答 町長 DXという、産業構造や社会基盤も含め、私たちの生活のあらゆる面で利便性が向上し、社会構造に革新的な変化が既に起きている。新たに「未来創造課」を創設し推進体制を整備し町の魅力を発信し、企業の誘致、若者の定住促進につなげていきたい。

問 コロナ禍における防災・減災、国土強靭化への取り組みは。

防災・減災 国土強靭化

問 誰でもが取り組める「未病チェックシート」を活用してはどうか。

答 町長 デジタル機器と組み合わせるなど検討し活用したい。

にかからないように予防するため、血圧や心拍数などのバイタルデータを24時間測定できるように身に付けられるデジタル機器の導入と普及を検討。この機器は、バイタルデータの他、転倒通報や位置情報の把握も可能になり、見守りへの活用も期待される。まずは、高齢者を中心に普及を進め、効果的な疾病・介護予防サービスや健康増進プログラムの提供を推進していきたい。



大人気のWi-Fi完備のキャンプ場 (神石高原ティアガルテン)

答 町長 近年、災害が激甚化・頻発化するなか、防災・減災、国土強靭化対策に取り組むため、国は緊急防災・減災事業費を拡充する5年間の加速化対策を進めている。新型コロナウイルス対策の地方創生臨時交付金を活用し、町内の避難所環境整備などを行い、受け入れ体制を整えた。本町の国土強靭化地域

問 議会の災害対応を地域防災計画に盛り込むべきでは。

答 町長 地域防災計画の見直しに併せ、議会との連携を盛り込みたい。

問 広島県水道広域連携の方針は

答 住民の利益につながるかを見極める



柏床 由夫 議員



町長

問 広島県が推進する、広島県水道広域連携について町の方針は。

答 町長 広島県は水道事業の経営組織を一元化する「統合による連携」が適当という方針を示した。

今後の見通しは、不透明な事項が多いことから「統合による連携」が住民の利益につながるかを見極めていく。

問 町は、設立準備協議会へ参加するのか。

答 町長 県水道企業団設立準備協議会(仮称)に参画し、町の計画や意見を示したうえで、検討・協議・情報収集し、統合について判断する。

問 不利益な場合は、設立準備協議会から脱会できるのか。

答 町長 設立準備協議会に参画後に、統合が脱退かを判断することは可能であると確認している。

奨学金返済支援制度

問 地元に戻って来やすい仕組みとは。

答 町長 奨学金の返済支援で、地元へ帰るきっかけになって欲しい。

問 町独自の奨学金返済支援制度の具体は。

答 町長 奨学金を返済している者が本町へ定住した場合、定住した期間に返済した額の3分の2相当額(年間15万円限度)を支援する。事業期間は、令和3年度〜令和6年度までの4年間。申請した年度から最大5年間。

問 住民登録があれば良いのか。

答 政策企画課長 実際に住んでいることも確認する。

機構改革について

問 改編新設する課への民間企業との人事交流の意義は。

答 町長 新年度、「まちづくり推進課」を「未来創造課」に改編し、課内にDXの推進に取組むため新たに「デジタル推進室」を設置する計画である。専門的な知識を有する職員が必要なため、民間企業との人事交流により、即戦力として対応できる職員を1名派遣していただく。派遣企業も地方創生の研究などとして

いるので、職員を派遣し研修終了後は本町のまちづくりに活かしたい。

問 人事交流の意義・必要性は。

答 町長 町政の課題に的確に対応するため、必要な知識及び能力を有する人材を育成することを目的とする。

農業振興について

問 スマート農業について、町の考えは。

答 町長 ICTやロボット技術を活用した次世代型農業は、本町のような担い手の少ない中山間地域でこそ必要な技術であり、検討されるべき技術ではないかと考える。



油木地区市場上水道

問 4億円の寄付者の思いは



町長

答 こばたけ保育所の出来るだけ早い建築



小川 善久 議員

答 子育て応援課長 令和5年中に完成できる予定だ。4月入所では

問 開所はいつか。

答 町長 出来るだけ早く建築してほしいとお聞きしている。また、英語教育を取り入れた保育、アート展示などで子どもの五感に訴え、子どもたちの個性を見つけたり伸ばしていける保育所をめざして欲しいとも聞いている。

問 東京在住の丹下大さんから4億円という多額な寄付をいただいた。寄付者の思いは。

答 町長 出来るだけ早く建築してほしいとお聞きしている。また、英語教育を取り入れた保育、アート展示などで子どもたちの個性を見つけたり伸ばしていける保育所をめざして欲しいとも聞いている。

答 子育て応援課長 令和5年中に完成できる予定だ。4月入所では

問 開所はいつか。

答 町長 出来るだけ早く建築してほしいとお聞きしている。また、英語教育を取り入れた保育、アート展示などで子どもたちの個性を見つけたり伸ばしていける保育所をめざして欲しいとも聞いている。

未来創造課へ
機構改革

問 寄付された4億円の内、1億円を活用しての「本物に触れる教育」の内容は。

答 町長 基本的に単年度で実施するようなものではなく、子どもたちが将来このまちで育つたことに誇りをもってもらえるような事業を検討する。英語教育は、令和3年度中に実施できるような取り組み。

なく年の途中での引越しを考えている。



こばたけ保育所の候補地（小島多目的グラウンド周辺）

答 町長 未来を見据えた施策を展開していく部署として、まちづくり推進課を創造的に改編し、未来創造課を設置する。具体的には、協働のまちづくりの更なる推進

問 特色ある教育の取り組みは。

答 町長 未来を見据えた施策を展開していく部署として、まちづくり推進課を創造的に改編し、未来創造課を設置する。具体的には、協働のまちづくりの更なる推進

とデジタル技術を最大限活かした様々な施策を推進していく体制を整備し課題解決に対応していく。

問 デジタル推進室の役割は。

答 町長 デジタルをどういう形で進めていくのか、スケジュールを立てたり、どの事業を活用するのか、どういう人に係ってもらおうのか、ということを進めていく。

答 町長 未来を見据えた施策を展開していく部署として、まちづくり推進課を創造的に改編し、未来創造課を設置する。具体的には、協働のまちづくりの更なる推進

問 特色ある教育の取り組みは。

答 町長 未来を見据えた施策を展開していく部署として、まちづくり推進課を創造的に改編し、未来創造課を設置する。具体的には、協働のまちづくりの更なる推進

とデジタル技術を最大限活かした様々な施策を推進していく体制を整備し課題解決に対応していく。

問 デジタル推進室の役割は。

答 町長 デジタルをどういう形で進めていくのか、スケジュールを立てたり、どの事業を活用するのか、どういう人に係ってもらおうのか、ということを進めていく。

答 町長 未来を見据えた施策を展開していく部署として、まちづくり推進課を創造的に改編し、未来創造課を設置する。具体的には、協働のまちづくりの更なる推進

問 特色ある教育の取り組みは。

答 町長 未来を見据えた施策を展開していく部署として、まちづくり推進課を創造的に改編し、未来創造課を設置する。具体的には、協働のまちづくりの更なる推進

とデジタル技術を最大限活かした様々な施策を推進していく体制を整備し課題解決に対応していく。

問 デジタル推進室の役割は。

答 町長 デジタルをどういう形で進めていくのか、スケジュールを立てたり、どの事業を活用するのか、どういう人に係ってもらおうのか、ということを進めていく。



林 憲志 議員

問 仙養ヶ原の振興策は

答 町と関係者が一体となって検討



町長

問 仙養ヶ原は利用されていない箇所が多くなっている。振興策を聞く。

答 町長 仙養ヶ原は、ゴルフ場が閉鎖し、以前のような賑わいや美しい景観が保てなくなっている。町としても関係者と一緒になって仙養ヶ原の今後の振興策を検討する。

問 グランピング※のようなりゾート施設を展開してはどうか。

答 副町長 指定管理者が具体的に検討されれば、町も協力する。

スコラ犬舎の放流水は

問 犬舎の尿排水処理後の水質調査の数値、今後の処理計画指導体制は。

答 町長 放流水の水質を規制する法令等はなく、NPOの調査により窒素含有量と大腸菌群数の数値が高いと聞いている。

現在も業者により、スコラ犬舎の排水処理施設の保守点検清掃及び排水路の監視がなされている。NPOの責任において適正に対策がなされるよう協議を継続する。

問 窒素含有量と大腸菌数が高いという事だが、何と比べて高いか。
答 環境衛生課長補佐 環境省の一律環境基準と照らし合わせて高いと聞いている。

問 県・町・NPOと排水状況や犬の飼養状況を確認・協議をする会は、開かれているか。

答 副町長 最近開催をしていない。水質検査の結果が出れば、話し合う。必要に応じて開催したい。

クマタカの保護を

問 森林の施業地や道路建設など、開発地付近にクマタカなど貴重動物の生息などが確認された場合の対応を聞く。

答 町長 希少動物を守っていくことは当然重要なことであると考える。

森林整備における希少動物の生息についての対応は町に専門知識を持つ職員がおらず、広島県などと対応を協議し、指示を仰ぐことになる。

問 クマタカを含む、鳥獣などが住みやすい環境づくりに特化した整備計画策定を。

答 町長 希少動物に関する計画は現在策定の予定はない。専門的な知識も持ち合わせていないが、本町の魅力である自然、希少動物の保護は、重要な課題であると認識している。

広島県や専門家の意見を聞くなどして検討する。

※グランピング
テントが設置されているなど、快適な環境で行える、キャンプの形。



クマタカの若鳥 お腹は成鳥に比べ白く成長すると細かい黒斑が現れる

問 DXの推進で何が変わるのか



町長

答 労働力不足の課題解決など



横山 素子 議員

答 町長 遠隔医療、ドローン、未病などの取り組みを中心に進める。

問 DXの推進でいつまでいどのような事を実現化されるのか、計画はあるのか。

答 町長 デジタル技術を活用し、「遠隔医療※」や運転手がいなくても走行できる「自動運転」の実現により、労働力不足の解消や本町のよくなる中山間地域の課題が克服できると考えている。

問 新技術の活用で具体的に何を推進するのか。

問 デジタル化を推進するため、新年度から「未来創造課」を新設し、民間の人材を招き、取り

答 町長 当面は高齢者を対象とするが、全世代への取り組みも検討する。

問 未病は高齢者だけではなく、全世代を対象に取り組むべきでは。

答 町長 まず、高齢者を中心に普及をすすめ、疾病・介護予防サービスや、健康増進プログラムの提供を進めていく。

問 最重要施策の未病への取り組みも新技術の活用とあるが、具体的な内容は。

答 町長 未病とは、健康から病気に向かっている状態を言う。病気にならない為に、身につけられるデジタル機器の導入で、転倒通報や位置情報の把握も可能になり、見守りへの活用や効果が期待できる。

問 組む予定と聞くが、その必要性は。職員の東京への派遣は必要なのか。

答 町長 デジタル化の推進をスピード感を持って進める方に来て頂く。また、職員を派遣する事で必要な事を学び、本町に帰って活躍して頂きたい。

庁舎の跡地利用は

問 令和3年度は新庁舎が完成するが、現在の進捗状況と開庁までのスケジュールと、庁舎跡地利用計画は。

答 町長 工事進捗は40%で、順調に進んでいる。8月20日が完成予定で、10月上旬から中旬にかけて開庁する予定だ。

町民の皆様には、落成式典や完成見学会ができるように考えている。また庁舎の跡地利用計



3月23日スコラ高原で行われたドローンの実証実験

画には新年度早々、町民で構成する委員会を設置し、検討する。

問 庁舎の跡地利用について町長の思いは。

答 町長 移住・子育てなどの利用も考慮しながら優先順位をつけて検討していく。

※遠隔医療
遠隔健康相談医療やオンライン診療などの医療サービス

問 ワクチン接種の優先順位は



久保田龍泉 議員



町長

答 まず医療従事者 次に高齢者

問 接種は医療従事者、次に高齢者を行うが、介護施設入所者や施設職員の接種はどうなるのか。

答 町長 入所者は介護施設で行う。職員には個別接種をお願いしたい。

問 神石へき地診療所では受付後、グラウンド側から水路を渡る足場が狭いので広くすること。横の入口は地面より高く、車椅子は入れない。スロープを設けるなど対応を求める。

答 保健福祉課長 十分に安全面を確保できるように行う。

問 接種会場までタクシーを利用される場合、合料金はどのようにするか。

答 総務課長 4月の補正予算でふれあいタクシーや買い物など町内で使える商品券の配布を計画している。対象は75歳以上と障害者の方を考えている。タクシー料金の見直しは考えていない。

問 接種会場までタクシーを利用される場合、合料金はどのようにするか。

答 町長 まちづくり計画を作成するにあたり主体的に実施されたもの。地域が自らの発意で買い物弱者、営農の課題解決に向けて自主的に取

持続可能な農林業、商工業について

問 神石協働支援センターでは、営農や買い物に関するアンケートが実施されたが、こんな重要なアンケートは役場の業務ではないのか。

答 町長 まちづくり計画を作成するにあたり主体的に実施されたもの。地域が自らの発意で買い物弱者、営農の課題解決に向けて自主的に取

り組むのは協働のまちづくりに不可欠な要素である。

問 アンケートの活用は。

答 町長 結果は新年度の農業振興協議会の資料としたい。

問 農業公社の作業受委託エリアを油木、神石地区に拡大し全町対応できないか。

答 町長 作業受委託エリアを全町に拡大することは困難である。

問 電子決済ペイペイの活用が町内消費喚起にどのような効果があったか。新年度の継続は。

答 町長 2回実施し、2月末で1億7600万円消費喚起の大きく寄与している。新年度は状況を見ながら検討する。

問 DXで、高齢者の見守り・体調の把握・遠隔医療・自動運転など

取り組むとどのように暮らすが豊かになるのか。相談しリモートで診察することもできる。

答 町長 具体的には今後計画する。見守りは各組織が行っているが、機器を利用して、健康管理や安否確認を行える。家族に連絡することもできる。町立病院では小児科がないので専門医師と



仮設の新型コロナワクチン接種受付テスト

問 2期目のスローガンは



町長

答 安心、幸せ、更なる挑戦



小川 清治 議員

答 町長 2期目のスローガンとしては「安心、幸せ、更なる挑戦」まちづくりをすすめる

問 今年10月には新庁舎が開庁し、来年には新町立病院が完成する。新しい幕開けを迎えるに当り町長の思いは。

答 町長 2月末現在で約60%が完了している。令和3年度末で、全地区の復旧工事完成を目指している。町内建設業者も鋭意努力して頂いている。

問 平成30年7月に発生した豪雨災害の復旧工事の、進捗状況と完了見込みは。

答 町長 10年20年先を策をしっかりと作り進めていく。

問 施政方針には、投資的的政策が多いが、成果はいつどのようなかたちで現われるのか。

答 町長 10年20年先を見据え、未来への政策をしっかりと作り進めていく。

問 神石高原町はまもなく全人口の約5割が65歳以上を迎える。行政としてどういう思いで高齢者社会への取組みをするのか。

答 町長 新技術を活用し、高齢者が暮らしやすい社会の実現に向け全国の先進事例となるよう全力で取り組みたい。新技術として、身に付けるデジタル機器の導入普及を検討する。スマートフォンをはじめとしたデジタル機器の使い方や、セキュリティ対策までの普及体制整備を検討する。

問 2010年に「神石高原町地域新エネルギービジョン」を策定して取り組んでいるが、現在の状況と課題、今後の取り組みは。

答 町長 エコなまちづくりを推進する新エネルギー導入の基本的な方針と、5つの重点プロジェクトを示し、新エネルギーへの啓発活動、公共施設への新エネルギー導入や住宅への導入促進、民間事業者との連携を進めている。

問 具体的には、住宅への太陽光導入促進や太陽熱温水器・木質ストーブ導入支援など取り組む。

答 町長 エコなまちづくりを推進する新エネルギー導入の基本的な方針と、5つの重点プロジェクトを示し、新エネルギーへの啓発活動、公共施設への新エネルギー導入や住宅への導入促進、民間事業者との連携を進めている。

問 国は2050年までにカーボンニュートラルを目指している。本町も、安心して安全なまちづくりのため、出来ることを着実にこなす。



建設業者の努力により急ピッチに災害復旧が進む神石地区広域農道

こんなことが決まったよ



主な条例の一部改正

新型コロナウイルス対策推進条例

町民一丸となり新型コロナウイルスを乗り切るため、町民の生命・健康・人権の保護、並びに経済に及ぼす影響の最小化を図り、コロナ禍克服に取り組む事を目指す条例。

全会
一致

行政組織条例の一部改正(機構改革)

まちづくり推進課を未来創造課に改編

- ①協働のまちづくりの更なる推進のため「まちづくり推進係」
- ②DXの推進のため「デジタル推進室」「デジタル推進係」を設置

全会
一致

神石高原町の選挙の公費負担に関する条例

町長・議員の成り手不足解消のため、議会議員選挙における供託金の導入や、選挙ビラ・ポスター・ハイヤー借り上げ代などの公費負担を定める条例

賛成
多数



提出者 横山素子 議員
賛成者 小川善久 議員

神石高原町議会会議規則の一部改正
―議会活動に参画し易い規則の整備―

議員活動と家庭との両立支援策を図るため、男女の議員が活動しやすい環境整備を行うもの。出産、育児、介護など議員として活動するにあたっての諸要因に配慮するため、育児、看護、など議会への欠席等の事由の整備を行い、出産については母性保護の観点から出産に係る産前・産後の欠席期間を規定する。

このほか、議会への請願手続きについて、請願者に一律に求めている押印の義務付けを見直した。

議員発議

議員賛否表 (賛否の分かれた議案のみ)

○=賛成 ×=反対

議案名	寄定 秀幸	藤田 晃己	木野山孝志	小川 清治	久保田龍泉	横山 素子	林 憲志	小川 善久	柏床 由夫	橋本 輝久
神石高原町の選挙の公費負担を定める条例	○	○	○	○	○	○	×	○	○	—

議長は採決に加わらない

どうなる？

継続審議中

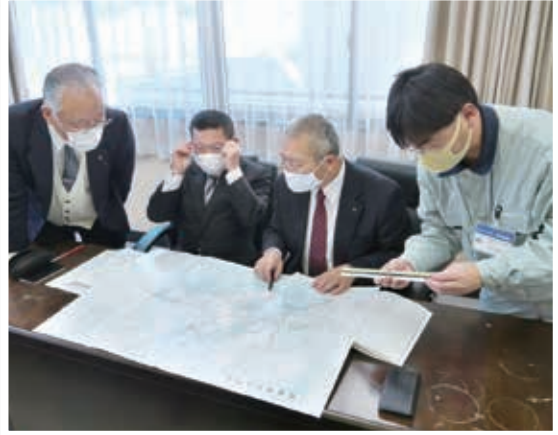
水道広域連携

産業建設常任委員会 報告 令和3年1月20日

今後の水道事業は給水収益減少や施設の更新費用のほか、経営悪化が見込まれ、人材・技術力の不足などが予想される。また災害などに強い体制と健全な事業継続のため市町を越えた水道広域連携により経営基盤の強化を図る目的で、水道広域連携企業団に参加するよう求められている。

環境衛生課の説明を受け本町が参加した場合のメリット・デメリットを比較し、協議検討したが、3月議会において、入江町長は水道広域連携企業団設立に向けた設立準備会に参加を表明した。

産業建設常任委員会は継続審議することとした。



木の温もり くるみ保育所新築！ 令和2年3月2日 開所



総務文教常任委員会 報告

令和3年2月13日

木造で温もりを感じられる建物になっており、床暖房で施設内が心地よい暖かさに包まれ、子供たちが裸足で遊べる環境であった。開放的な明るい玄関ホール。職員室からも見通しの良い、使いやすいレイアウトで収納やトイレなど保育士視点の気配りがある。

この素晴らしい、くるみ保育所を子育て環境充実の一環としてPRし、子育て世代定住へと繋げるべきである。

広報誌 コンクール 最優秀賞

「みんなの町議会第62号」が広島県第41回議会広報紙コンクールにおいて、最優秀賞。第38回議会広報写真コンクールで最優秀賞の成績でした。



議会終了後、翌15日発行を目指し、取材・編集・校正を議員自ら行っています。住民の皆様に親しみを持たれる、広報誌を作って参りたいと思います。

議会事務局の体制が変わりました

新任

議会事務局 事務局長



砂田 香代子

再任用

議会事務局 主任



国重 修示



お土産用に最適なギフトボックスでの販売も開始

コロナ禍による消費低迷ですが、ペイペイ効果もあり売り上げも上昇しています。販売開始より令和3年3月まで1561本の売り上げです。インターネット販売や3本セットのお土産用の箱詰めも出来ました。

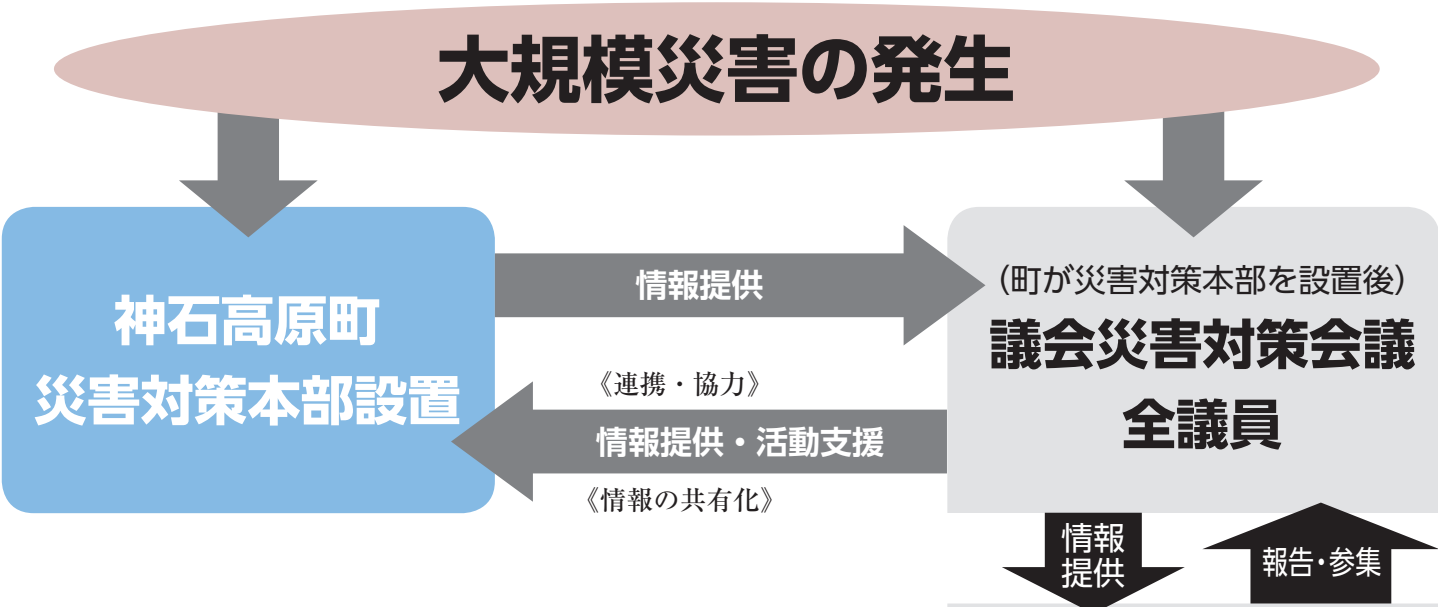
筆者の飲み比べた感想は、お米味はすっきりした味。トマト味は酸味の効いた癖になる味。しょうが味は他にはない独特の味。三者三様です。

神石高原町の特産品の風味を皆様に届けるべく販売員も売り上げUPに燃えています。



クラフトビール
売上目標
達成に向け
販売強化

災害発生時の議会・議員の対応フロー



議会・議員の災害対応を明確化

神石高原町議会は、「議会災害対策会議」の設置と議員の「災害対応指針」を定め神石高原町「災害対策本部」と連携・協力した災害発生時の対応を新たに制定し明確化した
 議会基本条例の改正(令和2年9月)に基づく取り組み

■議員の対応

- ・自らの安否所在地などを報告する
- ・地域の防災活動に従事する
- ・地域で災害情報などの収集を行い報告する
- ・被災地域における救助活動に協力する

※日頃から災害対応に関する知識の習得
 災害に備えた準備、訓練に努める

次世代議会[📶] 夢を育む提案！

令和2年12月24日開会

議長 廣田 花音 (油木高校)

事務局長 前原 優佳 (油木高校)

アグリツー
リズムを



三和中学校

森元 亮輔
瀬尾 啓太

本町の農業経験が豊富な農家の協力により、高いクオリティの農業による観光事業を行えば、農業に興味を持つ人が増え、本町の発展に繋がる。

イベントで
町の魅力発信



神石高原
中学校

岡 莉央奈
藤山 希彩

「丸ごとおいしい神石高原町」というキャッチフレーズを、様々な食物のイベントで使い、神石高原町ブランドとして確立してはどうか。

IT環境整備で
企業誘致



三和中学校

川上 誉士幸
光末 昊生

楽天モバイルパートナープログラムの応募で、超高速大容量ネット環境を整備し、空き家改修でIT企業を誘致してはどうか。

古民家カフェ
で活性化



油木高校

池田 葵
横山 唯奈

空き家を、なるべく木を伐採せず廃材などを活用し整備し、木の温もりのある古民家カフェに改造。町内産の食材を使ったサンドイッチなどを提供してはどうか。

マツダ
スタジアムの
仕掛けを
町づくりに



油木高校

後藤 優輝
根川 和也

今の強いカーブはホームスタジアムの充実が関係していると思う。
そこで、全国から客が訪れるマツダスタジアムの集客の仕掛けを、本町の町づくりに応用できないか。

子ども達の夢・想いを形に

豊松協働支援センター



「とよまつプレパーク」(仮称)
完成

「とよまつプレパーク」(仮称)事業は、豊松協働支援センター活動の一環である「とよまつ語ろう会」で子育て世代の皆様のご意見などをもとに芽生え、そして、とよまつ保育所と豊松小学校の保護者や教職員の皆様のご協力のもと、大きなつぼみにしていただきました。

そして、令和3年2月20日(土曜日)の午後、保護者や子ども達、そして地域住民は勿論のこと、町内外から多数のボランティアの皆様が駆けつけていただき、ここに見事に第1段階の森林パークの整備が完成しました。

これから、地域内外の子ども



遊具の組み立てを手伝うボランティアの皆さん

達や保護者、住民の皆様が夢を膨らませていただき、自然の中でのびのびと、そしてゆっくりと楽しく過ごせる空間として花を咲かせていただくことを願っております。

豊松協働支援センター長

まちの声

議会クイズの解答と共に寄せられた
要望・意見・感想など主なもの

●町の人口も減っているなか、議員削減はとても良かったと思います。新しく選ばれた議員の皆さんには、町民の為にきめ細かな活動をお願いいたします。
(70代 女性)

●新しい年を迎えられ町長をはじめ議員の皆さんに新たな決意をされた事とお察しいたします。三和に住んで良い所も沢山あり又不便さもありますが田舎が好きです。皆さんの活躍を期待しております。
(60代 女性)

●新型コロナウイルスがわが町では今の所ゼロです。でも、安心は出来なと思います。マスク、手洗い、密にならないように町民全体で気を付けていかないとけないと思いません。
(60代 女性)

●ふるさと応援寄付金、4億円に驚きました。住民だけでなく、地元を離れている人にも誇れるふるさとでありたいと思います。
(40代 女性)

●明けましておめでとうございます。常任委員会の役員も決まり、1人3

役もあり大変と思います。それに質問もされており毎日が多忙と思いますが、コロナ禍の現在お体ご自愛されましてご活躍される様にお祈りいたします。
(70代 女性)

●議員の皆様も10人体制となりましたが、チームワークを大切に町民共に頑張ってください。コロナ対策等で大変ですが身体に充分留意されますように祈っております。
(80代 女性)

●ありやあどうなったん。地ビールは？
(70代 女性)

●地域の議員さんの積極的な行動に安心していきます。今年も頑張ってもらいたいと思っています。
(無記名)

空欄に適切な言葉を
を入れてください

第48回 議会クイズ
GIKAI QUIZ

- ① P2~3 合併後最大規模 ○86億5695万円
- ② P6 ○デジタル化で健康寿命を延ばす
- ③ P21 新型○ロナ対策推進条例

💡 ヒント 議会広報をよく読んでね!

●応募方法

ハガキに「答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢」議会への要望・ご意見なども記入してください。(メールFAX可)
正解者多数の場合は厳正な抽選により、1人の方に5000円分のこうげん通貨券をお送りいたします。
応募は、1人・1通に限らせていただきます。

●あて先

〒720-1522 神石高原町小畠2025番地
神石高原町議会事務局「第48回議会クイズ係宛」

●FAX 0847-85-4201

●メールアドレス jk-gikai@town.jinsekikogen.hiroshima.jp

●締め切り ・はがき 令和3年5月31日(月)消印有効
・メール 令和3年5月31日(月)17時締切

●個人情報の取り扱いについて

ご記入いただきました個人情報は、賞品発送および『まちの声』などの目的以外には利用いたしません。



クイズの答え

① 議員定数は 10

② 町長の所信表明

安心・幸せ・さらなる挑戦

③ 12月補正予算額 6 億4774万円

第47回 議会クイズ当選者

油木地区 石原 隆美さん

おめでとうございます!

議会を傍聴してみませんか

次回の定例会は6月です

議員が議場でどんな発言をしているのか、今後の町づくりの方向を直接聞く良い機会です。

- 全員協議会・臨時会・定例会は一般公開です
- 本庁・各支所・協働支援センターでライブ中継もあります。

議員との意見交換大募集！

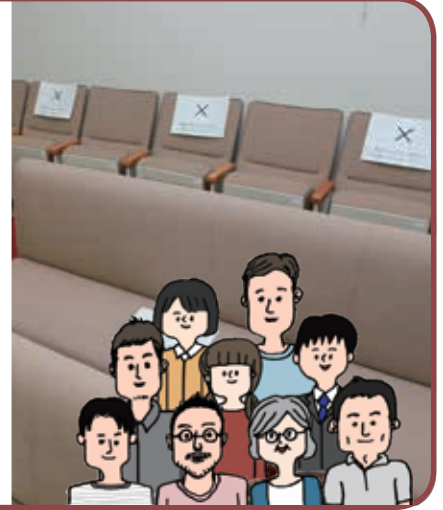
- 議会では広く町民と意見交換する機会を設けています。

議会事務局 (TEL0847-89-3340 FAX0847-85-4201)



Official website

<http://www.jinsekigun.jp/town/gyousei/3/>



宮地のエドヒガン

神石地区福永

今年も梶尾神社に隣接する神宮寺跡のエドヒガンの古木が、満開の花を咲かせました。平年より10日以上早い開花で地域の人を驚かせました。

あるじの沖田さんが、エドヒガ

ンの古木を見ながら、ご両親のこ
とや地域の歴史を語ってくれまし
た。

春霞の中、悠然と咲くエドヒガ
ン。地域と家族の歴史をつつみ込
むかのようです。



発行責任者 議長 橋本輝久
住所／広島県神石郡神石高原町小島二〇二五

TEL 0847-89-3340
FAX 0847-85-4201

議会広報常任委員会

委員長	林 憲志
副委員長	小川 善久
委員	橋本 輝久
委員	寄定 秀幸
委員	柏床 由夫

編集後記

この春、39名の小学1年生がコロナ禍の中、それぞれの小学校に入学しました。早く学校に慣れてほしいものです。私も1年生、昨年12月に新しく加わって2回目の編集作業になりました。今回の編集は、新年度予算など多くの記事を掲載するため、少しでも見やすくわかりやすい紙面づくりをめざして、議論を重ねて編集しました。(柏)

表紙の紹介



新庁舎建設工事の進捗を撮影する神石高原ドローン活用研究会(代表 佐藤仁史)の皆さん